

## 2008年主要国首脳会議の横浜開催を求める決議

21世紀を迎え急速にグローバル化が進む中で、国際平和、地球環境、世界経済など国際社会が直面する課題の解決に向け、主要国首脳会議（サミット）の役割はますます重要になっている。

1859年の開港以来、横浜は、我が国の玄関口として世界と結ばれた都市であり、さまざまな外国文化を取り入れ、日本の近代化を進める国際港都として発展してきた。国際平和を希求するピースメッセンジャー都市横浜は「開国・開港の地」のみならず「日本近代化の原点の地」であり、開港から150年を経た節目に、我が国で開催されるサミットを横浜で行う歴史的意義は大変大きい。

さらに、横浜は、東日本唯一の国立国際会議場や日本文化と庭園美を伝える三溪園、歴史的建築物を活用した赤レンガ倉庫など、アフターコンベンションを含めて多様なプログラムの設定が求められるサミットの開催地として最適な環境を備えている。

我々は、150年という歴史の中で、飛躍的な発展をなし遂げてきた先人たちの英知を引き継ぎ、未来に向けて積極的に挑戦していく姿勢を保ち続けたいと思う。

2008年のサミットを横浜市民の理解と協力のもとに開催することは、開港以来の進取の気風と開放性に富んだ横浜の名を発信していく絶好の機会になるばかりでなく、国際平和を希求し、国際社会において中心的役割を果たそうとする今後の日本の活力にもつながるものと確信する。

よって、横浜市議会は、2008年主要国首脳会議の横浜における開催を強く要望する。

以上、決議する。

平成17年9月30日

横浜市議会